



武智 邦典 議員

ウエルピア伊予の市街化区域への道のり

問

①県と協議を進め、4、5年程度で市街化編入の都市計画決定が行われるように作業を進めたいとのことだが、その工程は。②利便性を向上させる施設とは。

答 産業建設部長

①ウエルピア伊予の将来計画が確定した段階で、土地利用計画立案に約1年、各調査や県との協議と変更都市計画決定案作成に約2年、変更案の住民説明や都市計画法に定める事務手続に約1年を要すると考え、5年程度

の期間が必要である。



ウエルピア伊予

答

中村市長

②現時点で確たる方向は決まっていなくても、高齢者がいつまでも元気で過ごせるような施設を張りつけなければ、皆さんに喜んでいただけるのではないかと考えています。さまざまな意見をいただいている。今後は、市民の意見を踏まえながら方向を決めて、一日も早く市街化区域に編入され、あの土地が本市の宝になるようなすばらしい施設を持っていきたい。

現在計画中の新庁舎駐車場の

問

現在計画中の新庁舎駐車場は19台の予定だが、少なくとも同一エリア内に70台は確保できる駐車場は必要であると考えられるか。

答

中村市長

基本計画の中で庁舎横に19台、市道南側の2階建て駐車場に72台、計91台を計画している。

現在の市道南側駐車場は、公用車も駐車しているため、50台程度しか利用できず、市民の皆様にご不便をかけている。

今回の計画では公用車駐車場を別の場所に確保し、専用駐車場として90台程度の常時確保をしておきたい。

立体駐車場を市民が望むのか

問

バリアフリー等連呼される時代、また本市のよくな規模の自治体が立体駐車場など建設すべきではないか。

答

中村市長

平面駐車場の計画を構築すべきでは。

現在、中央公民館や図書館等のある約7600㎡の敷地に、図書館・文化ホール・公民館等を複合させた施設建設を計画している。

配置素案では、敷地南側に施設建物を、北側の図書館側に立体駐車場を整備する構想である。

敷地に余裕があれば、平面駐車も考えられるが、市街地での施設建設のため、スペースが限られることで台数を確保し、またエレベーターを

設置することで、利便性についても確保できると考えている。

周辺の土地利用形態により適切な方法を選択し、建設することが市民の望むことであると考えている。

その他の質問事項

・市役所内のAED取扱者は

・旧伊予川内線八倉分の損傷及び市道（幹線）の劣化

・本市のIT化は

・9号水路のこれからの工程概要

・ため池決壊想定避難シミュレーション

・旧伊予市の公共交通

・審議会のあり方

・伊予中の耐震改修工事設計におけるLCC等

・伊予中の給食センターから教室まで

・合併後の各エリアの人口推計

・文化財等のデータベースをどう生かすか